

向こう1年間の市場見通し (6月5日時点)

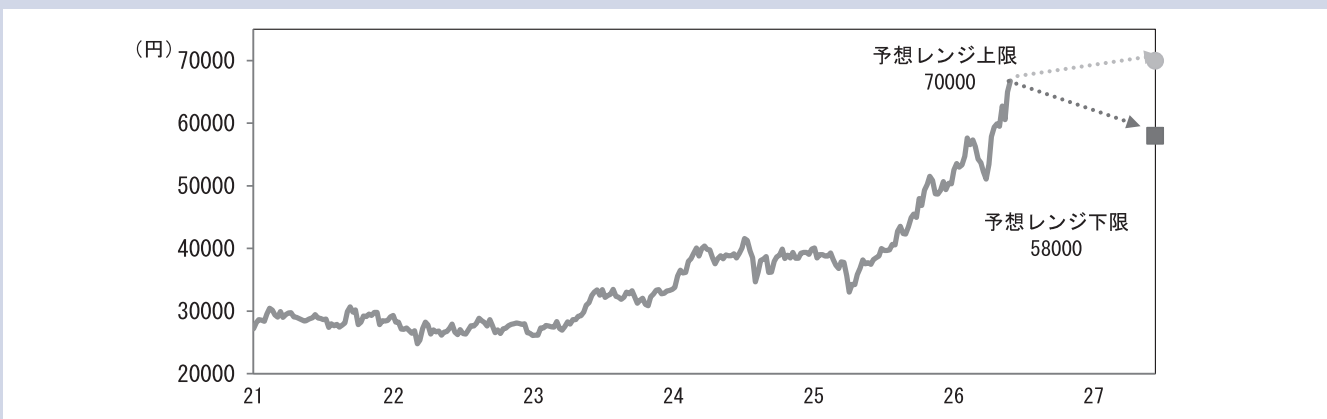
経済調査部 主席エコノミスト 藤代 宏一(ふじしろ こういち)

予想コメント

	コメント
株式	日本株はイラン情勢悪化に伴う原油高を受けて急落した後、AI関連株にけん引され、上値を切り上げた。日米ともにAI関連株の業績見通しは著しく上向いており、この点において株価は業績の裏付けを伴っている。この間、政府の原油高対策への期待もあり、内需株も持ち堪えている。
ドル円	FRBは2025年後半に累積0.75%ptの利下げを実施した後、4月までは据え置いている。利上げも意識されるなか、ドル高主導で円安が進む可能性がある。もっとも、追加的な為替介入の可能性もあり、一方的な円安の可能性は低下したと考えられる。
金利	日銀は4月に政策金利を0.75%で据え置いたものの、先行きの利上げ方針は維持した。インフレ圧力が高まるなか、円安に対する警戒もあり、利上げを続ける公算が大きい。半年に一度の利上げが標準となろう。長期金利はインフレ警戒感が燦る下、2%台後半～3%程度で推移するとみている。

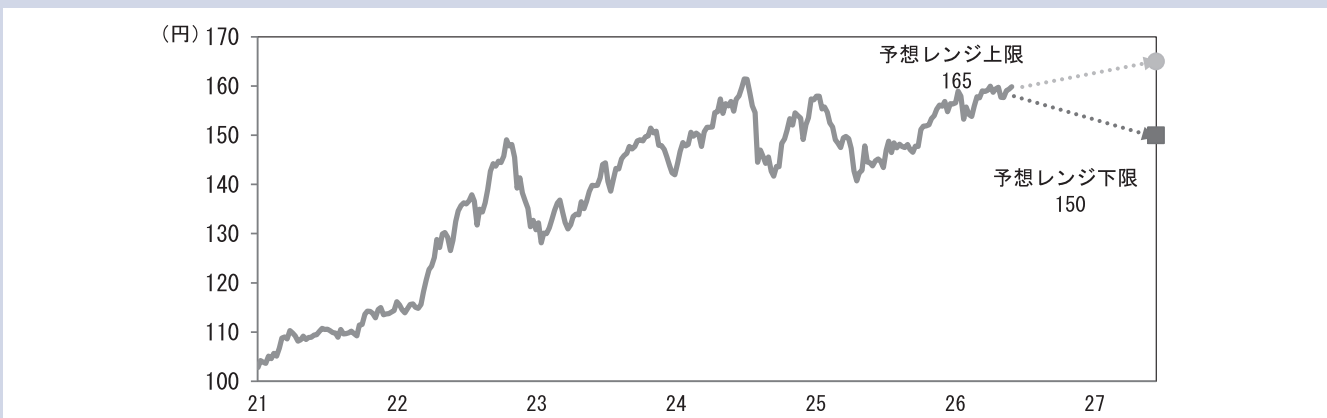
(注)記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

向こう1年間の日経平均株価



(出所) LSEGより作成

向こう1年間のドル円相場



(出所) LSEGより作成